105-343

問題文

健康サポート薬局において、健康啓発の一環として地域住民を対象に健康相談会を開催した。最近、大腿骨を骨折し、往診にて内服薬で治療中の80歳女性の家族から食事に関する相談を受けた。薬剤師がチェックシートを用いて質問をしたところ次の回答を得た。

	質問	Α	В	С
1	最近、やせてきましたか?	☑明らかに	□わずかに	□なし
2	物が飲み込みにくいと感じることが ありますか?	☑しばしば	□ときどき	□なし
3	水を飲むときにむせることがありま すか?	☑しばしば	□ときどき	□なし
4	食べるのが遅くなりましたか?	☑たいへん	□わずかに	□なし
5	硬いものが咀嚼しにくく(食べにくく)なりましたか?	□たいへん	□わずかに	☑なし
6	食事の際、食べ残しがありますか?	☑たいへん	□わずかに	□なし
7	食物や酸っぱい液が胃からのどに 戻ってくることがありますか?	□しばしば	□ときどき	☑なし
8	夜、咳で眠れなかったり目覚めることがありますか?	□しばしば	☑ときどき	□なし

チェックシートに基づいて、薬剤師が行う適切な生活上の提案はどれか。2つ選べ。

- 1. 飲食は仰臥位で行う。
- 2. 飲み物にとろみをつける。
- 3. 定期的な散歩をすすめる。
- 4. 食事は硬いものを増やす。
- 5. 食事の1回量を減らし、食事の回数を増やす。

解答

2, 5

解説

食事がとりきれずやせてきており、嚥下機能に困難のきざしが見られる、と読み取ることができます。

食事量を保つことで、フレイル \rightarrow 要介護という流れの予防につなげることを意図し「1回あたりの食事を減らし、食事の回数を増やす」提案が妥当と考えられます。また、誤嚥を予防するために「飲み物にとろみをつける」提案も妥当です。

以上より、正解は 2.5 です。